

# トランスサイレチンアミロイドーシス治療と 研究の最前線

遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシス（旧病名：家族性アミロイドポリニューロパチー）は、神経や心臓、胃腸、自律神経などが障害される遺伝性の希少な難病です。以前は治療として肝移植が実施されていましたが、最近、効果的な治療薬が複数使用できるようになりました。

このウェブ講演会は、最新の研究成果、治療・検査法に関すること、患者さん方の臨床情報を集約するための登録制度（レジストリー）などに関して、国内の主要な研究機関よりご講演を頂きます。また患者会から活動内容に関するご講演も頂きます。是非ご参加ください。

AMED 研究課題「遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスの革新的治療を最適化する病態評価法」「遺伝子情報に基づくトランスサイレチンアミロイドーシスの病態解明および個別化医療の実現を目的としたエビデンス創出研究」、厚労省政策研究「アミロイドーシスに関する調査研究班」合同市民公開講座

日時 2022年9月23日（金・祝日）12:30～15:00

形式 完全 Web 開催（Zoom 等）

★事前の参加登録が必要です。



参加者 患者、患者家族、医療従事者 ※原則として事前登録者のみ参加可能

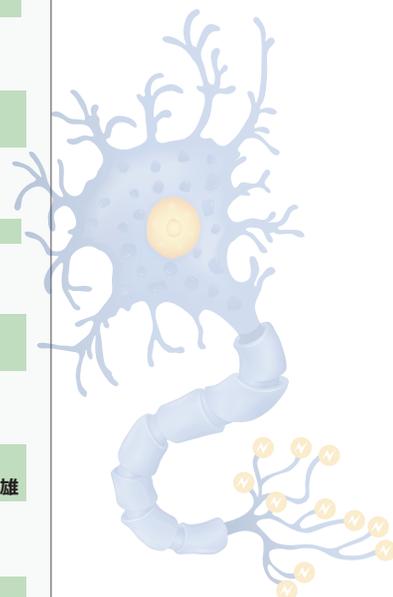
参加登録 URL <https://iconvention.jp/neurology-kumamoto/>

参加登録締切日 2022年9月22日（木）16:00 まで

## プログラム概要

司会：熊本大学病院 脳神経内科 講師 三隅 洋平

12:30～12:35	開会あいさつ	熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経内科学 教授 植田 光晴
12:35～12:55	「最新の治療および研究のご紹介 -熊本大学アミロイドーシス診療センターより-」	熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経内科学 教授 植田 光晴
12:55～13:15	「最新の治療および研究のご紹介 -信州大学より-」	信州大学医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 教授 関島 良樹
13:15～13:35	「トランスサイレチンアミロイドーシス ～今わかっていて、そして、今できること」	慶應義塾大学医学部 循環器内科 専任講師 遠藤 仁
13:35～13:45	休憩	
13:45～14:00	「道しるべの会の歴史」	道しるべの会
14:00～14:15	「たんぼぼの会について」	たんぼぼの会
14:15～14:30	「患者として考える自己実現と社会貢献」	森内 剛
14:30～14:45	「FAPと言われた時代から ATTRv にいたる研究・診療の変遷」	長崎国際大学 学長、薬学部 アミロイドーシス病態解析学分野教授、熊本大学名誉教授 安東 由喜雄
14:45～15:00	「アミロイドーシスの病理診断と厚労省アミロイドーシスに関する調査研究班の活動」	福井大学 副学長、分子病理学 教授 内木 宏延
15:00～15:05	閉会あいさつ	熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経内科学 教授 植田 光晴



参加登録サポートセンター

iコンベンション株式会社

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目7番14号 BOIS 博多ビル

TEL:092-402-1320 Email:neurology-kumamoto@iconvention.jp